

ひがしどおり 議会だより

No. 6 1



◆9月定例会のあらまし…………… P2

◆議案の審議結果…………… P2

◆平成28年度決算の概要……… P3

◆一般質問 …………… P4～5

◆常任委員会…………… P6

◆議会の活動 …………… P6



第3回定例会

相内議会運営委員長の報告

平成29年9月第3回定例会が9月1日開会し8日までの8日間の会期で開かれました。

定例会には、村長より、人事案件2件、報告案件2件、決算認定案件2件、平成29年度補正予算案件4件、契約案件2件の計12案件の提出がありました。

審議の結果、全議案を原案どおり可決・同意・承認・報告がされました。なお、今定例会においては、2名の議員による一般質問が行われました。

議案の審議結果

また、陳情2件を採択し、議員発議による意見書の提出を決定した。

●議案及び審議結果

【議案第38号】

☆東通村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて

現委員の「橋本健一」氏の再任を同意

【議案第39号】

☆人権擁護委員候補者の推薦について

「沢田要一」氏の推薦に同意

【議案第40号】

☆平成28年度東通村一般会計・国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・介護保険特別会計・下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

原案認定

【議案第41号】

☆平成28年度東通村水道

事業会計剰余金の処分及決算の認定について

原案認定

【報告第10号】

☆平成28年度東通村

一般会計等の決算に基づく健全化判断比率

報告済み

【報告第11号】

☆平成28年度東通村公営

企業会計の決算に基づく資金不足比率

報告済み

【議案第42号】

☆平成29年度東通村一般会計補正予算（第2号）

原案可決

【議案第43号】

☆平成29年度東通村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

原案可決

【議案第44号】

☆平成29年度東通村介護保険特別会計補正予算（第1号）

原案可決

【議案第45号】

☆平成29年度東通村下水道事業特別会計補正予算（第2号）

原案可決

【議案第46号】

☆東通中学校放射線防護対策工事請負契約について

原案可決

【議案第47号】

☆医療福祉施設非常用電源拡充工事請負契約について

原案可決

【発議第2号】

☆収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める意見書

採択

【発議第3号】

☆「全国森林環境税」の創設に関する意見書

採択

決算の概要

平成28年度決算
一般会計歳出総額

69億4,344万円 認定

- 国民健康保険特別会計歳出総額 10億5,913万円⇒前年度比 Δ5.8%
- 後期高齢者医療特別会計歳出総額 5,614万円⇒前年度比 +0.7%
- 介護保険特別会計歳出総額 8億1,015万円⇒前年度比 +0.8%
- 下水道事業特別会計歳出総額 2億6,379万円⇒前年度比 +1.6%
- 水道事業会計収益的出総額 2億6,614万円⇒前年度比 Δ1.7%

※詳しくは、広報ひがしどおり10月号を参照ください。

ふるさと納税寄附金 **4,005万円**

一般会計実質収支額

大切にに使わせて頂きます。

9,965万円 黒字

決算監査報告

「白濱清修」代表監査委員より平成28年度の決算監査報告があった。
審査結果は、何れも関係法令に基づき調製されており、計数的にも正確であると認定した。
また、財政健全化並びに経営健全化審査については、村長より審査に付

監査報告を述べる 白濱清修 代表監査委員



された普通会計における財政健全化判断比率、いわゆる実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率及び将来負担比率は、「早期健全化基準」、そして公営企業、いわゆる水道事業会計及び下水道事業特別会計における経営健全化の資金不足比率についても「経営健全化基準」に該当しないと審査報告がありました。

次に、菊池(英)水資源サービス課長からは水道事業会計の決算概要説明、菊池(敢)経営企画課長からは一般会計等の決算に基づく健全化判断比率及び公営企業会計の決算に基づく資金不足比率について説明がなされました。その後、竹林原子力対策課長より、原子力災害が発生した場合の一時退避施設を東通中学校とし、放射性物質が含まれる外

平成29年8月25日
午前10時

第3回定例会における議案の事前説明のため、議会全員協議会が開催されました。

越善村長の挨拶後、川原田会計管理者から、一般会計・特別会計歳入歳出の決算概要、財産状況等の説明がありました。

気を浄化するための、フィルター付換気設備及び非常用発電設備等の新設工事、また東通村診療所及び介護老人保健施設「のはなしょうぶ」を対象とした、非常用電源拡充工事の契約・工事内容について説明がなされ、質疑・応答を終え、閉会しました。

東通中学校に設置される「フィルター付換気設備」



議会全員協議会



議員が行政全般にわたり報告や説明を求めたり、質問することで、定例会において行われます。

9月定例会においては、2名の議員より一般質問が行われました。



【質問】 田村智和議員

- ①東通村営のキャンプ場が必要と思われるが、村の考えはどうか？
②東通村診療所の院外処方薬の受領の現状をどう考えるか？

田村 智和 議員



「要旨」

①東通村は、自然豊かな村として今日まで発展してきた。しかし、その豊かな自然にふれあい、家族や友人と遊びながら学べる地域交流の場が不足している。その交流の場として、東通村営のキャンプ場が必要と考えるが、村の考えを伺いたい。

②東通村診療所処方薬の受取りの現状は、薬局が遠く、交通量がある駐車場や、村道を横断しなければならぬ。また、患者の多くは、高齢者であり悪天候時の徒歩での移動は、負担と危険がある。この現状を村としてどのように考えるのかお伺いしたい。

【答弁】 ①

野牛川海浜湖沼公園整備計画では、レストハウス向側の海岸を海水浴場とし、周辺をオートキャンプ場として整備する計画がある。

また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の振興施策としても、新たなオートキャンプ場整備計画を見込んでいるが、下北地域には、現在10ヶ所のキャンプ場があり、新たなキャンプ場の設置には利用状況の推計と分析、初期投資や管理体制、費用対効果をしっかり検討し、設置判断をしたい。

村民の余暇の充実を図り、県内でも屈指の観光資源を有する当村の観光受け入れ基盤の一つとしても、キャンプ場の設置の必要性は認識しているところであり、更なる観光基盤充実を目指して前向き、かつ具体的に検討していく。

答弁する越善村長



【答弁】 ②

東通村診療所においては、開設当初は院内処方方式を採用していましたが、薬剤師の退職に伴う補充の確保が困難となり、平成20年6月から院外処

方薬局を開設しました。開設当初の法令では、医療機関との同一敷地内の設置禁止と、公道で分断されることが望ましいとされてきました。

議員ご指摘のとおり、薬剤の受取には、悪天候並びに歩行不自由者については、厳しい状況にあることは承知しているところである。

その中で、高齢者や歩行の困難な方については家族や施設職員の介助を受けながらの通院であり、患者が直接歩いて行くことは殆どないと伺っている。また、通院バスで来院した患者への対応については、薬剤師が診療所までの配達や、バスでの薬局までの移動等の方法で対処している。

昨年10月から医療機関の施設内においても、保険薬局の設置が可能となりましたが、現在の薬局は設置から6年ほどで施設が新しいこと、また移

一般質問

設に係る経費が薬局側の負担となることから、現段階では回答できないとのことですが、議員ご指摘の悪天候時における配慮について、改善や移転等に向けて検討して参りますので、ご理解をお願い申し上げます。

【再質問】

一つ目の、キャンプ場の設置については、遡ること昭和56年と平成2年に、当時の社会教育関係5団体から、(仮称)東通村立自然の森の早期建設が陳情され、子ども会育成連合会では、建設資金を積立したと聞いている。長きにわたる想いを汲み取って頂き、早期建設をお願いする。

二つ目の、院外処方薬の受取りですが、数年前患者輸送バスの利用者が薬局への移動の際に転倒し、その後、介護サービスを利用している。重大事故が発生する前に、早めの対処をお願いしたい。

【再答弁】 村長

これまでは法律的には、先ほど申し上げたとおりであるが、しかしながら、体の不自由な方には前もってお話を頂ければ、しっかりと対処したいと思う。また、様々検討して住民の不便解消を考えて行きたいと思う。

【質問】 伊勢田 勉 議員

村営牧場の現状と、今後の利活用の方針について

「要旨」

村内には4つの村営牧場が設置され、それぞれ長年にわたり牛馬の増殖に使用されてきた。

現在は、畜産農家の高齢化、後継者不足等の要因から畜産農家の減少により飼養頭数も減っていると思われる。この観点から村営牧場の利活用状況と、休業牧場がある場合の管理・運営状況を伺いたい。



伊勢田 勉 議員

【答弁】 越善 村長

東通村は牛馬の飼養が盛んであったことから、昭和42年に畜産課を設置し、昭和48年には村営第一牧場、昭和57年からは

さらに広大な面積の村営牧場は全て村有地か、また借地の場合は、その借地料についても伺いたい。

また、村財政を考える時、環境保全には十分配慮し、放牧場の利活用を前向きに検討してはどうか、村長のご所見を伺いたい。

村営第二牧場を建設し、黒毛和種の増頭に取組み、昭和60年には263農家で1501頭の繁殖雌牛飼養頭数となり、畜産の村として飛躍してきました。

しかし、平成3年から、輸入牛肉の競合から種となったこと、加えて平成7年頃には、後継者不足、農家の高齢化により、本年2月現在で、49農家・439頭で、この20年余りで農家数、飼養頭数が3割まで減少している。

現在の利活用の状況については、まず村営第一牧場は総面積205畝で村有財産であり、利用率は低下しているが引き続き、放牧と採草地として活用していく。

次に、村営第二牧場では、総面積171畝で村有財産であり、放牧と採草地として継続して活用していく。また、第二牧

場管理区域としての野牛

林活牧場は、野牛共有会から約38畝を借地した牧場であり、年間の賃借料は57万1938円である。現在は、黒毛和種雌牛を種雄牛と混牧放牧しており、第一牧場同様、このまま活用していく。

次に、砂子又牧場は、総面積で約112畝であり、平成5年に砂子又生産森林組合から借地した牧場である。年間借地料は168万1187円であり、平成20年から、高値子牛販売を目指し、人工授精による優良子牛生産に取り組んでいるところであり、今後も活用が見込まれる。

最後に、上田屋牧場は、総面積約113畝で、下北森林管理署の所有である。昭和59年に上田屋農場が建設した牧場であるが、維持管理が不可能となったことから、昭和62年に権利を譲り受け、現在の年間使用料は60万8

400円である。

また、平成8年には隣接する国有林11畝を買受け、草地整備を行い、年平均45頭を放牧してきたが、平成14年以後活用が無いため、返地・買受の協議をしている。林間放牧地・放牧地いずれも、原状回復が原則であり、買受等に係る費用を試算したところ、林間放牧地は工作物を撤去すれば、返地が可能である一方、放牧地は植林しての返地となることから、植栽事業費が高額で、また長期間を要するため、買受案の有利性が大きいものと考ええる。

いずれにしても、買受・返地には相当の費用を要するため、これまで貸付手数料で対応してきたが、遊休地の有効活用については、関係機関はもちろん、議会とも相談し、検討していきたい。

常任委員会

☆開催日時

平成29年9月1日

●陳情第3号

収入保険ではなく戸別所得補償の復活を求め、果樹共済の「特定危険方式」を廃止しないことを求める陳情

「陳情者」

青森県農民運動連合会

会長 森 淳一

「付託委員会」

産業建設常任委員会

「審査結果」

採 択

●陳情第4号

「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

「陳情者」

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

「付託委員会」

総務企画常任委員会

廃校舎の現状は、現在

「審査結果」

採 択

採択された、陳情2件は内閣総理大臣外関係先へ意見書として提出しました。



●廃校舎の活用について

「教育民生常任委員会」

【会議の結果】

保幼小中一貫教育を進め、学力向上を図るため、平成17年度から段階的に学校等の統合を進めた結果、31施設が廃校舎として現存している。

村としては、雇用の創出を図り、地域の活性化に資するため、新たに公募により、この学校施設を無償で貸し出し企業の誘致に取組むことにした。廃校舎の現状は、現在

14施設が、行政や集落で既に利用されており、ほか15施設については老朽化により活用が困難な施設である。

残りの、北部中学校・

老部児童館については、現状の状態で貸付可能であることから、地元集落への説明を行った後、貸付公募を開始する。

また、敷地が共有地、

或いは私有地については、同意が得られ次第、順次公募を開始する。

なお、公募に適さない廃校舎については、跡地の有効利用の観点から、速やかに解体を行い、地権者に返地すべきであるが、財政的理由により繰り延べされている。このことから、安価な解体費用での手法を確立し、段階的に解体作業を実施したいとの方針が示され、慎重に審議の結果、廃校舎の活用と老朽校舎の解体は急務であるとの認識から、原案を了承した。

議会の活動

県下町村議員研修

7月20日、青森市の

「リンクモア平安閣」市民ホールにおいて、青森県町村議長会主催による県下町村議員研修が開催されました。

講師には、テレビでおなじみの、政治ジャーナリスト「須田慎一郎」氏が、「これからの政局・政治展望」と題した講演を行い、全議員が出席し、聴講しました。

聴講する議員



下北郡議長会研修

7月24日から26日に、

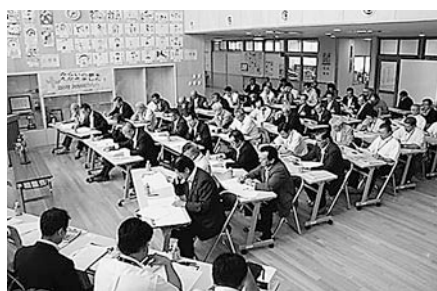
郡議長会による、県外行政視察が行われ、丹内東通村議会議長、石戸大間町議長、竹内佐井村議長、金森風間浦村議長の4名が参加しました。



今年は、四国電力(株)伊方原発1号機及び呉市の三菱日立パワーシステムズ(株)の大間原発原子炉格納容器を視察しました。

4町村議員研修会

8月3日、東通村、六ヶ所村、横浜町、野辺地町の4町村議員研修会が横浜町で開催されました。



編集後記

8月の長雨による低温で、農家の皆様は大変なご心配をされた事と思います。村民の皆様におかれましても、近年の異常気象には充分にご注意をお願いします。今回の議会だより61号は、総務企画常任委員会が担当しました。